

グローバル社会経済 コース

**国際経済人として、グローバルを考え
地域社会を牽引する。**

経済活動の国際的展開と多様な社会現象に対応するため、経済学をベースに世界各地の経済や社会・文化を幅広く学びます。その上で、世界を舞台に活躍するために必要な問題解決能力とコミュニケーション能力を身につけます。進路としては、国内外の企業（国際部門）、公益法人（JICAなど）、NGO、新聞社などのメディアなどがあげられます。

！ グローバル社会経済コースのポイント

01 世界の経済・社会を学ぶ

グローバルな経済動向と多様な社会現象を複眼的に分析するため、日本を含む世界の経済・社会・文化について歴史と現状を学び、専門的知識を養います。

02 問題を解決する能力と方法

問題意識を持って多様な社会現象を観察し、それを解明するために、文献を調べる、歴史から学ぶ、調査を行う、国際比較を行うなどの方法を学び、実践します。

想定される進路先

- ・ 国家公務員
- ・ 商社 ・ 通訳
- ・ 企業の国際部門
- ・ 記者
- etc.

※ 高等学校教諭1種免許状（商業）

03 コミュニケーション能力

世界を舞台に活躍するのに必要な問題解決能力とコミュニケーション能力を身につけます。外国語文献を読む力や外国語でコミュニケーションをとる力も育みます。

ゼミナール紹介。ゼミの魅力や雰囲気をご紹介します！

【金澤ゼミナール】 金澤 忠信准教授



ヨーロッパの社会・歴史・政治・経済を事象や作品から読み解く

この研究室では特にヨーロッパに関心を持つ人たちが、それぞれの地域の文化・芸術・慣習などに実際に触れたり、それについて書かれたものを読みながら、様々な社会的事象の歴史的・政治的・経済的背景について学びます。金澤の出身地である新潟県十日町市の「大地の芸術祭」と「瀬戸内国際芸術祭」あるいはヨーロッパの各種イベントとの比較を通じて、文化・芸術と地元経済・地域活性化との関係についても考察します。

【水野ゼミナール】 水野 康一教授



より良い国際理解のために、文化を超えた情報の発信方法を学ぶ

水野ゼミでは、英語とアメリカ社会について学んでいます。また外国人に日本の事物や日本人特有の考え方をどのように英語で紹介するか、異文化コミュニケーションの観点から検討しています。文化比較をもとに、地域への外国人観光客招致のための効果的なマーケティングについても考えます。ゼミ生に海外留学希望者や潜在経験者が多いのが特徴です。

【緒方ゼミナール】 緒方 宏海准教授



多様な文化を学び、世界と地域の課題に挑む探究力を形成する！

文化人類学は、地球上の諸民族の文化・社会を比較研究する学問です。緒方ゼミでは、政治、経済、宗教と文化、グローバル化など、現代社会を理解する上で不可欠なテーマについて、人類学の文脈の中でいかに探求されてきたのか、その研究蓄積と隣接する社会学的及び経済学的観点から学びます。学生が、複雑化・多様化する世界と地域の課題に挑戦し、解決する高い専門能力、多文化社会で生きる力を身につけることを目指します。

